

# 増田かおる

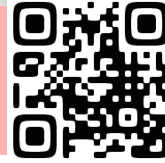


議会レポート Vol.35

2024年5月8日 発行人 増田薫

<http://www.masuda-kaoru.net/> ⇒  
[matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com](mailto:matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com)

〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel/Fax 047-361-2103



政治って一体誰のため？ と思うことが増えました。市民が収めた税金で様々な市民サービスを行うのが自治体の役割です。でも、本当にそうなのではないでしょうか。特に大型開発事業に関する税金の使い方に全く納得できません。政治と生活のつながりを、私なりの言葉で伝えていく大事さをあらためて痛感します。

## 3月議会の予算審査より

### 市役所移転候補地（相模台南側国有地）

約 8,700 m<sup>2</sup> 約 38 億円 の購入に反対

手続きが不明！ 根拠も不明！ 納得できない！



## 現庁舎と移転候補地の比較

	敷地面積	建物の敷地に占める割合	松戸駅からの時間	その他
現市庁舎敷地 (根本 387-5)	15,158.87 m <sup>2</sup>	29%	徒歩約 7 分	地盤が硬く広い土地。建て替え時に駐車場と仮庁舎が必要
移転候補地 (相模台南側)	8,745 m <sup>2</sup>	設計前のため不明	イトーヨーカドーの中を通る経路で徒歩約 9 分	高台。敷地の 4 割を占める崖部分の補強工事や道路の拡幅工事などが必要

## これまでの経緯を振り返ると

**①** 松戸市庁舎には 4 つの建物があります。本館 1959 年築（築 65 年）、新館は 1969 年築（築 55 年）、別館は 1983 年築（築 41 年）、議会棟は 1978 年築（築 46 年）。阪神淡路大震災後の耐震診断で、本館と新館は、震度 6～7 程度の地震で倒壊/崩壊の恐れがあるとされました。また、教育委員会、公園緑地課、保健センターなど多くの部署が、現庁舎とは別の場所に分散しています。市民にとっても不便なので、建て替えと集約を解決する方向です。



**②** 東日本大震災後の 2013 年（H25）、現地建て替えが検討された結果、「仮庁舎が必要になる」「建設費以外に費用が必要」「工期が長い」などの課題が示され、2017 年（H29）、議員全員説明会で「移転建て替えが望ましい」との説明がありました。移転候補地は、イトーヨーカドー松戸店の裏手にある相模台、通称「新拠点ゾーン」と呼ばれる地域にある、旧法務局跡地です。

松戸市ホームページ「新庁舎整備と新拠点ゾーン整備に関するこれまでの経緯について」をご参照ください



### 問題点 その1 いつ、どこで決まった?! 全く不透明

大昨年 5 月の臨時議会で「市役所移転のための国有地購入は許可できない」と、市の移転案を否決しました。その理由は①土地が狭すぎる、②渋滞が起こる、などでした。

そして今回、突如「市役所機能の段階的整備案」と、土地購入予算が再提案されました。まず第 1 段階で耐震性の低い本館と新館を移転させ、第 2 段階はその後「おいおい考えます」という無責任なものです。

ところが、その検討過程を開示請求したところ、なんと！昨年 5 月に用地取得議案が否決されてからの会議録は 1 月 22 日の総合政策会議のみ、**具体的に検討された記録は一切存在しなかったのです！**市の最重要と言える課題なのに、庁内での十分な検討、議論はなかったのでしょうか。あり得ません！

### 問題点 その2 実は、少なくとも 8 年は耐震性の低い庁舎を使う

移転には最低でも 8 年かかります。その間に大地震が来たらどうするのでしょうか…恐ろしいことです。本当に市民や職員の命を守るなら、仮庁舎へ一時移転すべきです。市は相模台南側への移転ありきで、以前から求めている仮庁舎は、松戸駅周辺でたったの 2 カ所しか探していませんでした。

賛否の理由など、詳しくは松戸市議会のホームページをご覧ください。<議案第 64 号>令和 6 年度松戸市一般会計予算、<議案第 71 号>松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区区画整理事業特別会計予算、をお読みください。

